

⑫の組

85 ～将軍神社～ ⑫の組



牛頭社 白鳥社ともいうが 威徳神社が正しい。将軍は「坂上田村麻呂」を祀ったもので戦いの神 農業の神 水の神である。



人柱ということがあるが ここでは可哀相なので 牛を代わりにしたと云う話がある。また 白い鳥が大池の工事の時 石の上にとまって動かなかったことで 守り神としてその石が 今のご神体であるなど…いろんな伝説がある。

86 ～大原古墳～ ⑫の組



現在2基見つかっているが 外にもあるかも知れない。古墳は 自然風化のために崩れている。この地の字名を「大原」と呼んでいる。



一度この場所に行ったことがある。堤 大池の直ぐ東の南向きの 山中にあり大池と威徳神社と堤の谷を 見下ろせることにより 池と谷 を支配し 宇山に向かう人の監視も出来るなど 格好の場所である。この地の有力者のお墓であった…と思われる。

87 ～堤大池～ ⑫の組



小田の北の玄関口。また小田川の源流として白竜湖に 流れ込んでいる。



「白鳥 (しらとり) の伝説」もある



宇山地区へは 近く… 池の側の県道は 豊栄町に通じている。

88 ～間夫池 (西野呂池 ～ ⑦の組北・椋梨



昔から野武士の谷を流れて宇山地区の灌漑用水としていたもので竜王山の山頂の西近くを堰き止めてつくった池である。しかし 小田側は この池の水を どうしても必要としたので小田に溝を切って流れる工事をした。当時の工事の石碑が 残っていて 1786 から 16年間かけて水路を 掘り切って造成した大掛かりなものだった。



現在も 中溝掛かりとして5の組の上の田圃まで 灌漑用水として活用している。元来 宇山地区に流れるものを小田にも流れるようにしたことから「間夫」(まぶ)を切った (横やりを入れて) …「まぶいけ」と呼んでいる。「まぶ池の人柱」の民話がある。この池へは堤 大池の側を歩いて自動車で行けば 大回りになるが 通じる。